

令和元年6月21日現在

機関番号：24201

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K16899

研究課題名(和文)中国系移民社会間における再生産労働の分業化と家族形成をめぐる社会人類学的研究

研究課題名(英文)Global Division of Reproductive Labor and Making Families among Overseas Chinese Societies

研究代表者

横田 祥子(YOKOTA, Sachiko)

滋賀県立大学・人間文化学部・講師

研究者番号：80709535

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：インドネシア西カリマンタン州出身の女性を国際結婚配偶者として迎えるホスト社会(台湾、香港、マレーシア)において、生産・再生産部門の労働者導入の状況や、男性配偶者の属性(エスニシティ、教育、階層)はほぼ共通していた。しかし外国籍配偶者の就労権の制限、社会統合政策に差異があり、より寛容で手厚い台湾は、国際結婚移住先として人気があることがわかった。他方、マレーシアでは就労権が厳しく制限されており、そのことが国際結婚の抑制に働いていると思われる。

また、インドネシア西カリマンタン州では、従来の仲介システムを活用して、中国大陸男性とダヤック人との国際結婚が開始しており、今後の展開に注目する必要がある。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、国際結婚配偶者を多数輩出する、インドネシア西カリマンタン州から、中国系住民がマジョリティを占める社会に向けた女性の移動の系譜を再構築し、華人研究の蓄積に対し新たな華人女性の移動形式の事例を提供した。また、ホスト社会における国際結婚配偶者に対する処遇と、再生産労働への期待の様相を比較検討できた。一口に再生産労働者といえども、本研究が対象としたインドネシア華人女性らはその身分に生じる権利の差異を強く自覚しており、血縁関係を作らない家事・介護労働者とは異なる家族形成の実践を提示することができた。再生産労働者の導入拡大に際して、生じうる課題を指摘することができた。

研究成果の概要(英文)：The acceptance of foreign labor force, whichever productive or reproductive, are common among host societies like Taiwan, Hong Kong, Malaysia where accept Indonesian Chinese women as foreign spouses. The attribute of men who married with Indonesian Chinese through match-maker is also similar in terms of ethnicity, educational background, social class. Though, there are big differences in terms of the restriction on working right, social integration policy among them. Taiwan where is relatively advanced is more popular for Indonesian Chinese women as a destination. On the other hand, because Malaysia restricts the working right to foreign spouses strictly, and child caring environment is relatively poor, therefore, it seems contribute to restrain the growth of cross-border marriage.

In West Kalimantan, Indonesia, cross-border marriage among Mainland Chinese men and Dayak women is a new trend. Indonesian Chinese brokers are mediating new actors. The new trend is worth of studying.

研究分野：文化人類学、地域研究

キーワード：再生産労働 華人 グローバルな世帯保持 グローバル・ハイパガミー 国際結婚 ジェンダー 移動 女性

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

1980年代以降、再生産労働の国際分業化が広義の東アジアで進行して来たが、中国系エスニシティをある程度共有する社会間では、独自の女性の移動現象が見られた。代表者は、台湾でいち早く進行した商業的国際結婚現象を研究する中で、インドネシア西カリマンタン州から台湾、香港、マレーシアへの女性の移動が見られることを確認し、関連国で比較研究を行う着想を得た。

2. 研究の目的

本研究は、(1)アジア諸国の内、中国系住民の多い国・地域(台湾、香港、マレーシア、シンガポール、インドネシア)で、1980年代以降進行している商業的国際結婚を通じた家族再編の実態を多面的に分析し、(2)女性の送出社会・インドネシア側が再生産労働の国際分業化により受けるインパクトについて解明することを目的とする。

3. 研究の方法

インドネシア、台湾、香港、マレーシア、シンガポールにて実地調査、並びに文献資料調査を行う。

(1)5カ国・地域の商業的国際結婚をとりまく諸問題を、大きく「エスニシティ」「ジェンダー役割」「教育アクセス」「就労構造」「階層分化」「家族戦略」に分け、問題特性や各国・地域の政策についての現状を比較分析する。

(2)中国系女性送出社会のインドネシアにおいて、商業的国際結婚の興隆が「家族福祉の拡充」「中国系男性の結婚難」「異民族間結婚」に寄与する現状を分析する。

(3)商業的国際結婚当事者が、スティグマ化に抗し「家族形成」していく過程を分析する。

4. 研究成果

インドネシア、台湾、香港、マレーシアにて実地調査を実施した。シンガポールについては文献資料調査にとどまった。

インドネシア西カリマンタン州出身の女性を国際結婚配偶者として迎えるホスト社会(台湾、香港、マレーシア)において、男性配偶者の属性は、エスニシティ、教育、階層の面ではほぼ共通していた。また生産・再生産部門の労働力に関する政策では、3国とも労働力導入を進めるホスト社会であった。しかし国際結婚件数の成長については、外国籍配偶者の就労権の制限、子育てしやすい環境かが要因となっていることがわかった。

当事者への社会統合政策では、台湾が最も全面的に進んでいる。香港では、大陸中国出身者や難民、外国人労働者への注目度が高くケアが進む一方、他国出身の配偶者は知られておらず、支援が遅れている。マレーシアでは外国籍配偶者の就労権が厳しく制限されており、そのことが抑制にも働いていると思われる。

インドネシア西カリマンタン州では、近年、現地中国系女性の国際結婚希望度が下がる一方、中国大陸の男性が配偶者を求め到来している。そこで仲介システムのノウハウとスマートフォンの機能を活用し、周辺民族に商業的国際結婚が拡大している。

国際結婚当事者が、スティグマ化に抗し「家族形成」をしていく過程については、個々の家族によるが、子供の出生や養育、家族で行う事業への貢献を通じて達成される事例を収集した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 5 件)

- 横田祥子 「書評 ジェームス・フランシス・ワレン著 蔡史君・早瀬晋三監訳 藤沢邦子訳 阿姑とからゆきさん : シンガポールの買売春社会 1870-1940年 Book Reviews : James Francis WARREN, Ah Ku and Karayuki-san : Prostitution in Singapore, 1870-1940」『華僑華人研究』15、2018年、pp.48-50
- 横田祥子 「書評 椎野若菜編著『シングルの人類学1 境界を生きるシングルたち』『シングルの人類学2 シングルのつなぐ縁』『比較家族史研究』31、2017年、pp.97-101
- 横田祥子 「インドネシア華人女性の国際結婚を通じた世帯保持:西カリマンタン州シンカワン市の事例から」『華僑華人研究』13、2016年、pp.27-44
- 横田祥子 「新刊紹介 吳燕和著、日野みどり訳『ふるさと・フィールド・列車:台湾人類学者の半世紀』」『華僑華人研究』12、2015年、pp.83-86

〔学会発表〕(計 4 件)

- 横田祥子 「ダヤック人の神格化に見る世界観の交差:インドネシア西カリマンタン州の民間信仰から」、2018年度日本華僑華人学会研究大会、2018年
- 横田祥子, Changing Cross-border Marriage Migration of Indonesian Women: A Case Study of Singkawang, West Kalimantan, Indonesia, International Workshop on Marriage Migrants in Asia: Mobility and Agency ,台湾国立成功大学性別與婦女研究中心 & WUN,2018.
- YOKOTA, S. " Cross-border Marriage Migration Between Indonesian Hakka Women and Other Area 's Chinese Men Global Householding of Singkawang, West Kalimantan, Indonesia" The Fourth Taiwan International Conference on Hakka Studies,2016.
- YOKOTA, S. 2015. Remigration to "Free China": the Political Decision for Indonesian Chinese" , Celebrating 20 Years of SEASREP and Southeast Asian Studies, 2015 Southeast Asian Studies Regional Exchange Program, University of Gajah Mada, Indonesia,2015.

〔図書〕(計 6 件)

- 横田祥子 「解説 台湾の結婚移民現象に関する夏曉鵬のポジション」夏曉鵬著、前野清太郎訳『「外国人嫁」の台湾:グローバリゼーションに向き合う男と女』東方書店、2018年、pp.361-374、391頁
- 横田祥子 「印尼華人女性的跨國婚姻與維持家戶福利:以西加里曼丹省山口洋市為案例」『在地、南向與全球客家』国立交通大学出版社、2017年、pp.297-325(中国語)
- 横田祥子 「第4章 政治的な正しさの背後にかくれたローカルな論理によりそう:商業的国際結婚と家族」白石壮一郎・椎野若菜編『社会問題と出会う(FENICS100万人のフィールドワーカーシリーズ7)』古今書院、2017年、216頁
- 横田祥子、原めぐみ 「7章 表象としての「女性」、宮原暁編著『東南アジア地域研究入門2 社会』慶應義塾大学出版会、2017年、pp.141-161、356頁
- 横田祥子 「東南アジア系台湾人の誕生:五大エスニックグループ時代の台湾人像」陳來幸・北波道子・岡野翔太 編『アジア遊学204 交錯する台湾認識:見え隠れする「国家」と「人びと」』204、2016年、pp.142-151、288頁
- 横田祥子 「第26章新移民」「第27章人間関係とコミュニティ」「第53章東南アジアと

の関係」、赤松美和子、若松大祐編著『台湾を知るための 60 章』明石書店、2016 年、pp.149-153、157-161、309-313、384 頁

- 横田祥子 「台湾における国際結婚」、「国際結婚の商業化」、「グローバル・ハイパガミー」比較家族史学会編『現代家族ペディア』弘文堂、2015 年、376 頁

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年：

国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

横田祥子 「「東南アジア人材」という表象を泳ぐ子供たち 台湾・結婚移民の第二世代」『フィールドプラス』20、2018 年、pp.8-9

Researchmap <https://researchmap.jp/read0124252/>

滋賀県立大学ウェブサイト 研究者情報

http://db.spins.usp.ac.jp/html/100000269_ja.html

6 . 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号（8桁）:

(2)研究協力者

研究協力者氏名:

ローマ字氏名:

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。